Japan Lifeline

2025 年 7 月 24 日

各位

日本ライフライン株式会社
AED 事業推進部

保育博ウエスト 2025 で開催した乳幼児救命 AED 講習会

～実践型ワークショップで「知る」から「できる」へ

参加者から「胸骨圧迫・AED の重要性を再認識」の声多数～

2025 年 7 月 16 日（水）に「保育博ウエスト 2025」（会場：マイドームおおさか）にて開催されたワークショップ「いざという時のために！乳幼児救命救急 AED 講習会」に、当社員がインストラクターとして登壇したことをご報告いたします。

当日は保育士や施設関係者など、子どもの安全に関わる多くの方々にご参加いただき、乳幼児の命を守るための一次救命処置について学んでいただきました。

講習会が始まると、参加者の皆さまは当社インストラクター、鈴木瞳（AHA 認定 BLS インストラクター）の話に熱心に聞き入っていました。 一方的に知識を伝えるだけでなく、保育現場で起こりうる具体的なシーンを交えた解説に、深く頷く姿が多く見られました。

続く実習では、乳幼児マネキンと訓練用 AED を使用し、

１．倒れている乳幼児への呼びかけ

２．周囲への協力依頼（119 番通報と AED の手配）

３．胸骨圧迫

４．AED トレーナーの音声ガイダンスに沿った操作と電気ショック

という一連の流れを、体験頂きました。

参加者の皆さまからは「わかりやすく学びがあった」「実際に体験出来て良かった」や「胸骨圧迫は想像以上に力が必要」「知識として知っていることと、実際にできることは全く違うと痛感。定期的な訓練が必要」といった声が寄せられ、本講習会が救命への意識を新たにする貴重な機会となったことが伺えました。

【開催の様子】

【講師：鈴木 瞳（AHA 認定 BLS インストラクター）のコメント】

「参加された皆様の真剣な眼差しから、子どもたちの命を守りたいという強い想いを感じ、胸が熱くなりました。私たちの活動が、保育現場における万が一の事態への備えとなり、子どもたちの安全・安心な環境づくりに繋がる一助となれば、これほど嬉しいことはありません。ご参加いただき、誠にありがとうございました。」

【開催概要（報告）】

日　程　：2025 年 7 月 16 日（水）13:00～14:30（保育博ウエスト 2025 開催初日）

会　場　：マイドームおおさか　展示会場内 3F 研修・ワークショップエリア

タイトル：「いざという時のために！乳幼児救命救急 AED 講習会」

内　容　：一次救命処置の解説、訓練用 AED とマネキンを使用した実技体験

参加費：無料

講　師　：AHA（アメリカ心臓協会）認定

BLS（Basic Life Support）インストラクター

鈴木 瞳

【本件に関するお問い合わせ先】

日本ライフライン株式会社

AED 事業推進部

担当：四倉 唯晴（よつくら ただはる）

E メールアドレス: aed-rescue.ask@jll.co.jp

TEL：03-6711-5268　FAX：03-6711-5234